

## 【エクアドル内政・外交：2015年2月】

### 1. 内政

#### (1) 閣僚交替

コレア大統領は、13日付大統領令第579号及び18日付大統領令第585号により、新たにスポーツ大臣、鉱業大臣、貿易大臣、都市開発・住宅大臣を任命した。

ア. 辞任した閣僚

セシリア・バカ・スポーツ大臣(代行)

フランシスコ・リバデネイラ貿易大臣

ディエゴ・アウレスティア・バレンシア都市開発・住宅大臣

イ. 新閣僚

カタリーナ・オンタネダ・ビバル・スポーツ大臣

ハビエル・コルドバ・ウンダ鉱業大臣

ディエゴ・アウレスティア・バレンシア貿易大臣(前都市開発・住宅大臣)

マリア・デ・ロス・アンヘレス・ドゥアルテ都市開発・住宅大臣(前運輸・公共事業大臣, 元経済社会参画大臣, 元都市開発・住宅大臣)

#### (2) 鉱業省の新設

ア 14日, コレア大統領は土曜の国民との対話の場において, 伝統的天然資源省が管轄する鉱業部門を分離し, 新たに鉱業省を新設することを発表した。これにより伝統的天然資源省は石油および天然ガスのみを管轄し, 「炭化水素省」(Ministerio de Hidrocarburos)となった。

イ コレア大統領は, これまで伝統的天然資源省は, 当国の主要輸出品である石油資源政策を優先的に扱ってきており, 鉱業部門の優先度が高くなったが, 今般, 鉱業省を新設したことにより, 鉱物資源開発を重要政策として掲げることを述べた。

#### (3) 野党会合

23日, カラスコ・アスアイ県知事のイニシアチブで, クエンカ市において約150名の異なる野党政党出身の県知事及び市長が参加する会合が開催され, ネボット・グアヤキル市長, ロダス・キト市長らが出席した。

#### (4) 公務員の給与削減

コレア大統領は, 24日付大統領令第601号により, 3月1日より, 政府高官の給与が5~10%削減することを発表した(例:大統領職10%減, 副大統領職9%減, 大臣職8%, 大臣顧問職7%減, 局長職5%減)。同大統領は, 今回の削減により2,100万米ドルの余剰金が発生し, 出産による母親の死亡件数を減少させるため, 新たに1,600人の専門家を雇用す

ることができる」と説明した。

## **2. 外交**

### **(1)日エクアドル政策協議の実施**

ア 3日、日本とエクアドルの外務省は、キトにおいて第三回日・エクアドル政策協議を実施し、日本側は高瀬寧外務省中南米局長が、エクアドル側はギハロ外務省アジア・アフリカ・オセアニア担当次官が代表を務め、政治、経済、経済協力、文化、日エクアドル外交関係樹立100周年行事について意見交換を実施した。

イ 同日、高瀬寧外務省中南米局長がパティーニョ外相と会談した際、同外相は、「イスラム国」による2人の日本人の殺害に関し、エクアドル国家及び個人の名において哀悼の意を伝え、またこれら殺害を断固非難した。また様々な分野における二国間の経済協力案件、特に科学・技術および人材育成の分野における協力可能性について協議を行った。この関連で、大学間、日本の研究機関間の知識移転、交換学生の増加、ヤチャイ及び大学間の協定の締結について計画されている。また通商協定、戦略部門における協力・投資についての可能性を話し合った。

### **(2)UNASUR外相会合**

ア 9日、パティーニョ外相は、ウルグアイで開催されたUNASUR外相会合に出席し、ベネズエラの国内問題に対する米国の制裁などによる「介入」に対して憂慮を示す立場を支持した。

イ 23日、パティーニョ外相は、RTS局によるインタビューの中で、民主主義の擁護は地域の平和を擁護することであるとし、ベネズエラ国内の問題解決に向けてUNASURが果たす役割の重要性について主張した。

### **(3)CELAC議長国**

ア 12日、アリサガ外務副大臣は、CELACを構成する33カ国が、ベネズエラの人権状況に対する米国の一方的制裁を拒絶する声明を採択したことを発表した。

イ 19日、パティーニョ外相はCELAC議長国として、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会(CEPAL)との会合をもち、貧困、不平等、気候変動、環境、科学技術、インフラ整備等のCELACが掲げる目標を達成するために、CEPALと協調して行動をとるための意見交換を実施した。

### **(4)対アフリカ関係**

ア アフリカ諸国との関係強化およびエクアドル外交の多角化という目的のため、エチオピア、ナイジェリア、アンゴラに新たにエクアドル大使館を創設する合意書に国連大使が署名した。